

一般社団法人全麺協東日本支部第12回通常総会議事録

日 時 令和元年5月20日(月)13時30分～16時30分

場 所 麺業会館2階会議室

出席会員数 正会員 42 団体 議長への委任状提出 28 団体 計 70 団体(正会員総数 95)
(出席者名簿は 8 ページ)

議事の概要

阿部成男支部長の挨拶の後、支部規約の規定に基づき阿部支部長が議長となって議事を進めた。

阿部議長が出席状況の報告を求め、野島靖夫事務局長から、開会の時点で出席会員が42団体、欠席で議長に一任の委任状提出が28団体との報告を受け、議長は支部の規約では議事の定足数の規程が無く、議事は出席会員の過半数で決することになっている旨説明し、議事に入った。

議長は、第1号議案平成30年度事業報告を議題として内容の説明を求め、腰原弘敏副支部長が総会資料の1～3ページの記載内容について概要を説明した。

続いて、議長は第2号議案平成30年度事業収支・監査報告を議題として説明を求め、野島靖夫事務局長が総会資料の13ページの記載内容を説明した。

続いて、議長は監査報告を求め、野本徳市監事から総会資料の14ページに基づき、全て適正に執行されていることを認めたとの報告を受けた。

野本監事からは、付帯意見として、四段位のそば打ち技術研修会の土浦会場分については、支出の証拠書類が無く、確認ができなかったため、主管団体と連携して報告をきちんとするようとの要請があった。

議長は、第1号議案と第2号議案について一括して質疑を求めた。

宮田優一群馬奥利根連合そば会代表

監査報告は、丁寧で良かったが、会費納入が無かったままになっている点、
収支報告書に全麺協からの地方認定審査員研修会助成金が未収入になっている点について、監事の意見を聴きたい。

野本監事

請求して納入してもらうように、適切な対応を促しておく。

阿部支部長

納入していない会員団体からは、支部会費を納入する理由が分からない、会費納入のメリットは何かとの問い合わせがあり、支部の活動を円滑にしているために必要なことで、総会でも議決されていること等を説明して、分ったので納入するとの回答を得ている。

納入している会員団体が不公平にならないよう、各役員にも納入について働き掛けをお願いしたい。

宮田代表

未納入会員団体で当方とつながりがある所があれば、納入を働きかけておく。

唐橋宏会津そば塾代表

本部からの助成金が入らないのは、何か理由があるのか、

野島事務局長

本部へは、メールで催促をしているがまだ入っていないので、再度働きかけていく。

渡邊義昭青葉手打そば教室 青蕎会 会長

予算と決算の数値が違い過ぎるように思うが、何故か。

野島事務局長

予算の段階では支部からの助成金のみを計上していたが、それでは実態が分らないので、収入と支出をより分かりやすくしたために生じたものである。

阿部支部長

助成金に係る部分の収支のみを計上して処理してしまうと事業全体にかかった経費がよく分らないので、決算では分かり易い方式でやっておこうとして整理した結果である。

横山忠弘蕎麦の会藤代表

執行ゼロの事業があるが、活動方針に示した事業を実施しなかったというとか。

野上副支部長

地域活性化事業については、事業を全く実施しなかったというわけではなく、全麵協本部でも助成を受けて事業を行う会員団体が無いという状況もあり、支部としては事業を実施する前の段階として、平成30年度に会員団体の地域振興に関する事業の取り組み状況等の実態調査を行い、そばを活用した地域振興に効果的な事業を提案すべく取りまとめを行っている。

提案書は、間もなくまとまるので、今後関係者と調整して、会員団体に提案していきたいと考えている。

議長が第1号議案、第2号議案について採決を求めたところ、拍手多数で両案とも報告通り承認された。

次に、議長は第3号議案役員選出(監事)案を議題として、提案内容の説明を求め、野上副支部長が総会資料の15ページに基づき、石野忠秋監事の死去に伴い空席となっている監事1名について、とちぎ蕎和会の小森康弘代表を後任として推薦し、任期は石野監事の残任期間としたい旨説明した。

議長が議決を求めたところ、拍手多数で第3号議案は提案通り可決された。

次に、議長は第4号議案令和元年度事業計画(案)を議題として、内容の説明を求め、芳田時夫副支部長が資料の16、17ページに基づき概要の説明を行った。

続いて、第5号議案令和元年度事業収支予算(案)を議題として、内容の説明を求め、

野島事務局長が資料の18ページに基づき、概要の説明を行った。

議長は、第4号議案と第5号議案を一括して質疑を求めた。

唐橋代表

収支予算の中で支出に次期繰越額が計上されているが、繰越額は結果として出てくるものであり、予算としては予備費に入れておくべきではないか。

阿部支部長

確かにその通りであり、次期繰越額の項目を削り、その額を予備費に計上する形で修正する。

横山忠弘蕎麦の会藤代表

地方審査員技術研修会の中で、受講の必要性の高い者を優先とあるが、これはどういうことなのか。

阿部支部長

地方審査員技術研修会は、受講者の利便性を考慮し、30年度は2箇所を実施して好評だったが、会場費等の経費が多くかかり参加者が少なかったことから大きな赤字となったため、赤字のままでは事業の継続ができないので、今年度は1箇所で行うこととした。

受講希望者が多くなり、予定数を超えてしまった場合には、受講すべき期限が近付いている者から優先的に受講させるようにするというものである。

横山代表

実技研修会を四段位に限定して行う理由は何なのか。

阿部支部長

東日本支部は、四段位の受験者が非常に多いためであり、三段位については今後検討していきたい。

合格率が上がっていないことについては、どうすべきか、今後本部とも相談してみたい。

廣武照明神奈川そばフォーラム会長

事業が赤字で支部から助成しているのか。

阿部支部長

会費の範囲内でできないものでも、より良い事業をやってもらうためには助成が必要と考えている。

宮田代表

そば大学の際の役員の旅費の問題があるが、旅費については、役員行動費として一括計上し、他の事業全体に使えるようにしておいてはどうか。

阿部支部長

茨城でそば大学を開催した際には、役員は参加者という形で対応したので、支部からの旅費負担はしなかったが、旅費の扱いをどうするかは今後執行役員会で協議していきたい。

野島事務局長

役員の旅費については、受講者負担ということで、参加者の受講料に上乗せして参加料を算出するようにしてはどうか、群馬の際には検討してもらいたい。

篠田栄治常陸そばの会

事業費と管理費の割合は良い。管理費で旅費が突出するのは適当でない。未収金を予算の中に入れておくべきではないか。

野島事務局長

指摘の通りなので、未収金は計上しておくようにする。

板垣一寿蕎麦打ち道場一寿の会代表

自分の所では、そばを支える底辺拡大にも繋がるよう、小学校3年生を対象にそばの栽培からそば打ち体験まで取り組んでいるが、そばによる地域振興の事業の中で、外部の五段位の者に素晴らしい技を披露してもらう際の旅費等の助成をしてもらえればと考えている。

事業については、マスコミを活用してPRに努め、効果を高めていく。

野上副支部長

板垣代表の取り組んでいる事業は、現在提案を検討しているそばによる地域振興事業の中でも、そばの魅力を子供のうちから知ってもらうための重要な事業と考えているので、今後会員団体からいくつかの事業に対する助成の要望が出てきた際に、合わせて執行役員会の中で対応を検討していきたい。

阿部支部長

今後、会費のあり方、旅費、予算執行のあり方については、執行役員会の中でも十分検討していきたい。

議長が第4号議案と第5号議案の議決を求めたところ、拍手多数で両議案とも提案通り決定された。

次に、議長は、全麵協支部改編検討における東日本支部分割案についてを議題として、これまでの経過と支部役員会での検討結果を踏まえて執行役員会の意見を集約し、資料の第12回東日本支部通常総会議案の記載内容をまとめたこと、これについて支部の総会で議決を受け、支部の意見として支部改編検討委員会に提出したいことを説明し、資料の記載内容を朗読し、質疑を求めた。

鈴木俊一郎ふるさと寒河江そば工房会長

全麵協の定款46条で理事会が決定すれば、支部を置くことが決定してしまうのか。

阿部支部長

定款上は、理事会で決定すればその通りになる。

野上副支部長

資料の1支部設置及び運用規則の制定趣旨の3には、支部の独自性、自主性を尊重しつつとあるので、これを素直に読めば、支部からの意見が理事会でも

尊重されるのではないかと期待している。

阿部支部長

制定趣旨は了解したが、あまりにも性急過ぎるので、東日本支部でどうするのかをまとめて、6月に開催される検討委員会で支部としての意見を述べたいと考えている。

支部の分割案は、総会前の理事会に提出されるのではないかと見ている。

唐橋代表

5支部にする方向でいくのを前提に進めるのか。

何故分割するのか、必然性が見えて来ない。人数が増えたからでは、理屈にならない。

分割すれば事務局が必要になるが誰がやるのか、会員数が少ない中で対応できるのか疑問だ。

分けなければならない必然性が未だに見えて来ない。

議論して、決を採って本部に上げてもらいたい。

阿部支部長

十分な議論を進めていきたいと考えている。

加藤憲幹事(全麵協専務理事)

全麵協は、言論の自由が無いわけではない。真意が伝わっていない。

今回の支部総会は、12回となっているが、全麵協の支部としては5回ではないのか。これでは、旧東日本支部の総会ではないのか。

他の支部と同じレベルで運営してもらいたい。

このままでやるなら、四段位は本部でやらざるを得ない。

唐橋代表

北海道だって会員は多くなっているが、2つには分けられない。

人数が多いからと言って、細胞分裂ではないわけだから。

板垣代表

新潟は、分けられると交通問題で冬は集まれないが、東京なら集まれる。

分割には、交通網の問題を考慮すべきである。

廣武会長

数の問題と定款の問題がある。

阿部支部長

現在の全麵協は、全国麵類文化地域間交流推進協議会から引き継いだものであり、支部も同じであることから、定款に無いから存在しないということではできない。

唐橋代表

本部に支部設置規定が無いから支部の根拠が無いという本部の考え方はおかしいし、支部を2つに分けるとするのは無理がある。

加藤専務理事

これまでの東日本支部の努力は理解できるが、支部の設置規定を設け、支部は運用規則で決めて、他と同じようにすることが良いと考えている。

現在会員数の少ない東北は、支部を設置して、強力な開発の努力をしたいと考えている。

八幡平へ行って現地の人と話をした時に、20年前に全麵協を知っていれば300人くらいは段位を取っていたのではないかと言われたことがある。

阿部支部長

支部の分割の問題は、しっかりと議論して、禍根を残さないようにしなければならぬので、今日提案した支部からの意見書についても十分に議論してもらいたい。

小川伊七杉戸麵打愛好会小川道場会長

本部では提案の内容でいこうとしているのかもしれないが、地域の活性化やそば道の間人づくりを唱えている全麵協の設立趣旨を踏まえて、それらを実現するためにも時間を掛けてじっくり議論をして決めていくべきである。

分離した方が良いと言うのなら、会員の考えに根ざしてまとめるべきであり、もっと検討する時間をいただきたい。

阿部支部長

前回の支部の役員会の結果は、本部には正式には伝わっていないので、今回の総会の結果をきちんと伝える必要がある。

唐橋代表

北の方は、会員も少なく、認識に大きな差があり、なかなかうまくいかないと思う。

北の方の会員増強は、地域と一緒に本部がやるべき事業であり、支部を分割して支部でやればよいという話ではない。

鈴木会長

支部を分割した場合、役員はどうするのか、事務局はどこに置くのか、経費が分割される中ではやっていけないのではないか。

役員会には自分に対応できないので、分割には反対する。

東日本支部の中に、分割しなければならないという意見はあるのか。現行のままで良いのではないか。

阿部支部長

何故現状ではだめなのか、メリット、デメリットはどういうものがあるのか、今後どうなるのかが見えないので、その旨東日本支部の正式な意見として本部に出したい。

については、今日の資料のような意見で良いのか伺いたい。

唐橋代表

1年かけて議論を尽くして、来年の総会で結論を出してはどうかということ提案する。

宮田代表

参考資料の中に数字が出ているが、分割する際の根拠となる数字を定めるべきではないかと思う。

38度線にいる身としては、分割するならその動機付けが必要であり、それが無いと仲間に知らせられない。

篠田

4支部を5支部にする権限はどこにあるのか。人口減少を考えると、10年後はどうなるのかわからないのではないか。

阿部支部長

支部について検討するというのは決まっているが、細部についてはまだ決まっていない。

樽見二三男彩蕎一門会代表

東日本でも活動しているのは東京周辺が多く、北の方で活動している所は少ないので、東北地方のそばの活性化、団体を増やすことが必要だ。

分割してどうなるかは分らないが、全体が良くなるよう十分に検討することが必要である。

議長は、東日本支部分割の議案について、皆が納得するような形でやって欲しいというのが大勢の意見と見られるので、1年くらいかけてやるべきという意見も加え、提案した議案書を修正して本部へ提出してはどうかと諮ったところ、拍手多数で提案通り議決された。

阿部支部長

皆さんの意見を踏まえて、本部の委員会、理事会に臨んでいく考えである。

皆さんにも情報を伝えつつ支部の執行役員会で内容を詰めていくので、支部の発展のために今後も意見を寄せてもらいたい。

以上で、予定した議案の議事をすべて終了し、16時30分総会を閉会とした。

第12回東日本支部通常総会出欠表 令和元年5月20日

区分	会員名	代表者氏名	県	H31総会	第12回総会出席者
地公共団体正会員	日光市	市長 大嶋 一生	栃木県	欠席	議長に委任
正会員	NPO法人そばネット埼玉	代表理事 阿部 成男	埼玉県	出席	上田秀雄、鳥海修一
正会員	会津そば塾	代表 唐橋 宏	福島県	出席	唐橋宏
正会員	会津磐梯そば道場	代表 長谷川 徹	福島県	出席	長谷川 徹
正会員	桜流蕎麦打ち研究会	会長 高崎 満	東京都	出席	松本一夫
正会員	ふるさと寒河江そば工房	会長 鈴木 俊一郎	山形県	出席	鈴木俊一郎
正会員	さいたま蕎麦打ち倶楽部	会長 田中 浩三	埼玉県	出席	野木直衛、菅野博
正会員	栃木のうまい蕎麦を食べる会	会長 芳田 時夫	栃木県	出席	芳田時夫
正会員	いばらき蕎麦の会	会長 人見 實徳	茨城県	出席	野上公雄
正会員	江戸流手打ちそば青山学舎	代表 渡辺正男	千葉県	出席	渡辺正男
正会員	江戸流手打ちそば 二・八の会	会長 安井良博	東京都	出席	土屋照雄、久保
正会員	たかばやし蕎麦研究会	会長 君島 照明	栃木県	出席	寺門清貴
正会員	会津田島御蔵入そばの会	会長 紀 治男	福島県	欠席	議長に委任
正会員	群馬奥利根連合そば会	代表 宮田 優一	群馬県	出席	宮田優一
正会員	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会	会長 渡部 隆夫	埼玉県	出席	野本徳市
正会員	千葉県そば推進協議会	理事長 石橋 ちづ江	千葉県	出席	腰原弘敏
正会員	千葉手打ち蕎麦の会	代表 勝山 富江	千葉県	出席	勝山富江
正会員	蕎麦打ち道場 一寿の会	代表 板垣 一寿	新潟県	出席	板垣一寿
正会員	いわせ蕎麦の会	代表 若林 正美	茨城県	欠席	議長に委任
正会員	さくら蕎麦の会	会長 杉山 忠秋	千葉県	出席	杉山忠秋
正会員	太田こだわり蕎麦の会	代表 加藤 志伸	群馬県	欠席	議長に委任
正会員	TOKYO蕎麦塾	塾長 藤澤 剛	東京都	出席	萬晃一
正会員	手打ちそば教室 蕎麦善	代表 鴨井 孝	埼玉県	欠席	議長に委任
正会員	蕎麦の会 藤	代表 横山 忠弘	埼玉県	出席	横山忠弘
正会員	青森県そば研究会	代表 佐藤 重一	青森県	欠席	議長に委任
正会員	江戸流手打ちそば 鶴蕎の会	会長 小泉 好江	東京都	出席	小泉好江
正会員	いわきそば塾	塾長 根内 一彰	福島県	出席	吉田雅之
正会員	杉戸麵打愛好会小川道場	会長 小川 伊七	埼玉県	出席	小川伊七
正会員	青葉手打そば教室 青蕎会	会長 渡邊 義昭	宮城県	出席	渡邊義昭
正会員	大島そば同好会	会長 橋本 正希	福島県	欠席	議長に委任
正会員	江戸流手打ち蕎麦 鶴合之衆	代表 小野 マサル	茨城県	出席	小野マサル
正会員	江戸流手打ち蕎麦 轟そばの会	会長 田仲 悦郎	千葉県	出席	田仲悦郎
正会員	伊勢崎蕎麦うづゆう会	会長 萩原 久和	群馬県	欠席	議長に委任
正会員	安積そば同好会	会長 高橋 久	福島県	欠席	議長に委任
正会員	秩父そば打ち倶楽部 蕎楽館	代表 上石 良雄	埼玉県	欠席	議長に委任
正会員	宮城手打ちそば研究会	代表 柏倉 寛充	宮城県	出席	柏倉寛充
正会員	彩蕎一門会	代表 樽見 二三男	埼玉県	出席	樽見二三男
正会員	神奈川そばフォーラム	会長 廣武 照明	神奈川県	出席	廣武照明、石田紀雄
正会員	NPO法人 熊谷そば打ち会	会長 高橋 侑一	埼玉県	欠席	議長に委任
正会員	そば塾 彩蕎庵	会長 安田 武司	埼玉県	欠席	議長に委任
正会員	とちぎ蕎和会	代表 小森 康弘	栃木県	出席	小森康弘
正会員	郡山そば同好会	代表 渡辺 樹太郎	福島県	欠席	議長に委任
正会員	日本橋そばの會	会長 兼城 健	東京都	出席	兼城健、木村佐江子
正会員	常路麵打ち愛好会	会長 新崎 照幸	埼玉県	出席	新崎照幸
正会員	そば始め会	会長 金子 啓介	新潟県	欠席	議長に委任
正会員	せいち庵そば打ち倶楽部	会長 生沼 聖司	茨城県	欠席	議長に委任
正会員	恒持庵	会長 坂本 始喜	埼玉県	欠席	議長に委任
正会員	久喜そば倶楽部	会長 田中 憲一	埼玉県	欠席	議長に委任
正会員	手打ちそばサークル悠遊	会長 中井 吉弘	埼玉県	欠席	議長に委任
正会員	小山手打ちそばの会	会長 武藤 光男	栃木県	欠席	阿部成男に委任
正会員	仙台一番町そば塾	代表 日野 浩一	宮城県	欠席	議長に委任
正会員	福島南向台そばクラブ	代表 佐藤 昭二	福島県	欠席	議長に委任
正会員	つくば蕎麦愛好会	会長 浅見 周司	茨城県	出席	浅見周司
正会員	結乃會	会長 斉藤 巖	福島県	欠席	議長に委任
正会員	桃園そば打ち会	会長 田中 博文	東京都	出席	田中博文
正会員	蓬田村そば打ち研究会	会長 桶田 武	青森県	欠席	議長に委任
正会員	ふくしまマスターズ11期生そば打ち愛好会	代表 五十嵐 幸也	福島県	欠席	議長に委任
正会員	うつのみや和楽の会	会長 堀内 信夫	栃木県	欠席	議長に委任
正会員	伊勢原蕎麦打ち倶楽部	会長 鈴木 一夫	神奈川県	出席	鈴木一夫
正会員	福島手打ちそばの会	会長 富田 美都男	福島県	欠席	議長に委任
正会員	圏央手打ちそばクラブ	会長 樋口 正一	埼玉県	出席	樋口正一
正会員	常陸そばの会	会長 長嶋 光行	茨城県	出席	村田勉、篠田栄治
正会員	こもれび蕎麦の会	会長 林 久晴	千葉県	出席	岩崎よし子、神田政江
正会員	北本蕎深会	会長 深井 昭芳	埼玉県	欠席	議長に委任
正会員	つくば手打ち蕎麦研究会	代表 酒井 茂	茨城県	出席	小林孝雄
正会員	清原手打ちそばの会	会長 鈴木 孝行	栃木県	出席	鈴木孝行
正会員	一水蕎麦塾	代表 松沼 孝	栃木県	出席	松沼孝
正会員	おぐにの郷	代表 齋藤 忠市	福島県	欠席	議長に委任
正会員	我孫子そばの会	会長 星崎 輝夫	千葉県	出席	星崎輝夫
正会員	浦和そば研究会	代表 秋谷 信一	埼玉県	出席	秋谷信一

出席:42
欠席で委員長への委任状提出 28